

グループホーム かめさんの家

かめさんのちょっといい話

夕食後ソファに腰かけテレビを見ていたS様。急に大きな声で「あーあ、うちに帰りたくなったな」と少しさみしげに話されました。後日自宅外泊の予定があったため、「もう少ししたら家に帰れますよ」と話す、とても安心されたような顔をされ、「本当か?!?よかった」と喜ばれていました。

～職員コメント～

グループホームで大勢の方と楽しく過ごしていても「いつまでここにいるんだろう?いつ家に帰れるんだろう?」という不安を持ちながら過ごされているんだということを感じました。グループホームにいても家族や地域の方、馴染みの方との関わりが無くならないよう支援していきたいと思えます。



片桐綾副主任

デイサービスセンター 紙ふうせん

紙ふうせんのちょっといい話

朝、ご利用者を迎えに行くと、ご家族の方から「これ紙ふうせんで飾ってください」とお花を頂くことがあります。種類もさまざま、その季節のお花やご利用者の好きな花、桜や梅の木の枝を持ってきてくださったこともあります。

～職員コメント～

四季折々のお花をいつもご利用者が座るテーブルに飾らせて頂いております。そのおかげで、紙ふうせんの雰囲気がとても華やかになります。そして、ご利用者同士のお話に花が咲き、職員とのコミュニケーションのきっかけにもなります。デイサービスでは、コミュニケーションをとる大切にしていきます。そのきっかけをご利用者様から頂き、職員も一日いちを楽しく頑張ることが出来ます。



酒井和希ワーカー

出雲崎町デイサービスセンター (いずデイ)

いずデイのちょっといい話

ご利用者のKさんが、ベッドから起きようとされていたYさんに、靴を履く手伝いをされていました。その後しばらくの間2人でベッドに腰掛けて会話され、ほのぼのとした場面を見つけました。

～職員コメント～

いつもどこかが痛い切なそうに話すYさんの事を、いつも気にかけていたKさんは、同じご利用日になると、Yさんに必ず声をかけて心配をされており、お互いを励ましあっているようで、心が温まりました。私たち職員もご利用者を思いやり、温かい心でお手伝いをし、デイサービスに来ることを楽しみにして頂けるように努めていきたいと改めて感じました。



佐藤智美主任

いかがでしたか? 日々の生活の中に、心温まる出来事がたくさんあります。また、次回をお楽しみに!!



平成27年度 苦情処理状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
●苦情受け付け時間:8:30～17:30
●苦情解決責任者:星野広栄

サービス内容	長期入所	短期入所	原簿介護	出雲崎町DS	DS紙ふうせん	ヘルパーステーションやすらぎ	GHかめさんの家	合計
サービス内容	0	0	0	0	0	2	0	2
怪我・病気	0	0	0	0	0	0	0	0
職員対応	3	0	0	0	0	1	0	4
連絡・報告ミス	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	0	0	3	0	6

皆様からの「ご意見・ご要望・ご相談」を受け付けております。

皆さまから頂いた貴重なご意見を今後のサービスの向上・職員の意識向上・支援技術の向上に繋げるべく、迅速かつ適切な対応を行っていきたく思っております。各サービスご利用時にお気づきのことがございましたら、各事業所の苦情相談窓口担当者までお申し出ください。

- 【法人】
○特別養護老人ホームやすらぎの里 電話:0258-78-3311 FAX:0258-78-3124 担当者:鈴木 美樹(特養生活相談員)
○特別養護老人ホームやすらぎの里 短期入所 電話:0258-78-3311 FAX:0258-78-3124 担当者:大坂 千春(短期入所生活相談員)
○居宅介護支援事業所 電話:0258-78-3715 FAX:0258-78-4004 担当者:小黒イコ子(事業所長)
○出雲崎町デイサービスセンター 電話:0258-41-7155 FAX:0258-78-4201 担当者:関川 康弘(事業所長)
○デイサービスセンター紙ふうせん 電話:0258-78-2889 FAX:0258-78-2879 担当者:遠藤 良章(事業所長)
○ヘルパーステーションやすらぎ 電話:0258-78-2869 FAX:0258-78-2879 担当者:遠藤 良章(事業所長)
○グループホームかめさんの家 電話:0258-78-2896 FAX:0258-78-2897 担当者:室住智恵子(事業所長)
- 【市町村等】
○出雲崎町 電話:0258-78-3111
○刈羽村 電話:0257-45-2244
○柏崎市 電話:0257-23-5111
○長岡市 電話:0258-39-2245
- 新潟県 電話:025-281-5609
新潟県福祉サービス適正化委員会
○新潟県国民健康保険連合会介護サービス相談室 電話:025-285-3022

平成27年度 ボランティア

(平成27年4月～平成28年3月 法人全体) (順不同)

- ◆小木ノ城第1支部様 ◆小木ノ城第2支部様 ◆小木ノ城第3支部様
- ◆出雲崎町おけさ保存会様 ◆出雲崎町日赤奉仕団様 ◆出雲崎町婦人会様
- ◆出雲崎町ひまわりグループ様 ◆永原秀馬様 ◆遠藤敬子様
- ◆歌謡ボランティア小林真貝チーム様 ◆歌謡倶楽部MYステージ様 ◆幸福会様
- ◆寿会様 ◆小山晴代様 ◆三光院様 ◆関本みさ子様 ◆関本美枝子様
- ◆重住敬子様 ◆真言宗派三条区様 ◆田中多恵子様 ◆長寿クラブ第1支部様
- ◆長寿クラブ第2支部様 ◆長寿クラブ第3支部様 ◆西越第1支部様
- ◆西越第2支部様 ◆西越第3支部様 ◆やすらぎの里家族会ボランティア様
- ◆雙善寺様 ◆徳永勇次郎様 ◆丸山ナミ様 ◆田村孝太郎様 ◆田村美代子様
- ◆丸山紀子様 ◆丸田栄英様 ◆大西正憲様 ◆安達泉様 ◆安達一雄様
- ◆安達弘様 ◆竹村祐次様 ◆小田正勝様 ◆内藤利春様 ◆安達正人様
- ◆内藤信子様 ◆内藤和子様 ◆三輪栄子様 ◆三輪久子様 ◆安達昇治様
- ◆南波敬明様 ◆安達義明様 ◆遠藤竹一様 ◆安達伸明様 ◆夕渚愛様
- ◆加門豊様 ◆内藤一子様 ◆小林幸子様

～ありがとうございました。ぜひまたお待ちしております。～

4月の職員異動

職員名	現所属	旧所属
灰野 三三子	短期入所事業所 介護職員(主任)	ヘルパーステーションやすらぎ 訪問介護員(主任)兼サービス提供責任者
山田 めぐみ	やすらぎの里 養護課 介護職員(副主任)	デイサービスセンター紙ふうせん 介護職員(副主任)
渡邊 麻衣子	出雲崎町デイサービスセンター 介護職員	やすらぎの里 養護課 介護職員
佐原 信子	やすらぎの里 養護課 介護職員	出雲崎町デイサービスセンター 介護職員
小林 恵	デイサービスセンター紙ふうせん 介護職員	やすらぎの里 養護課 介護職員
椎谷 和恵	やすらぎの里 養護課 医務室 看護職員	出雲崎町デイサービスセンター 看護職員兼機能訓練指導員
田中 麻代	デイサービスセンター紙ふうせん 介護職員	やすらぎの里 養護課 介護職員
小野 実紗	グループホームかめさんの家 介護職員	デイサービスセンター紙ふうせん 介護職員
山口 厚子	出雲崎町デイサービスセンター 看護職員兼機能訓練指導員	やすらぎの里 養護課 医務室 看護職員

編集後記

桜の季節も終わり、やすらぎの里の周りの木々や草花も大きくなって色とりどりの花を咲かせています。当法人は新しい職員を迎え、新体制となり2ヶ月が過ぎました。新しい風を吹かせるべく、新入職員と共に、職員全員気持ちを新たに今年度も行事だけでなく、日々の生活の中でもご利用者様にとってより良いサービスを提供できるよう、努めてまいります。

ニューフェイス (新採用職員)



結婚

(特養ワーカー)
小谷松秀美 (旧姓 中川)
(特養ワーカー)
大長 朋恵 (旧姓 布川)

産声

赤ちゃんが産まれました
(特養ワーカー)
外山知佳
実桜ちゃん (H.28.5.5生)

<ご寄付>

(H28.3月～H28.4月) 順不同
・真宗大谷派様

皆様よりたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。

発行 〒949-4353
新潟県三島郡出雲崎町大字川西660番地1
社会福祉法人中越老人福祉協会
特別養護老人ホームやすらぎの里
TEL:0258-78-3311
編集者 やすらぎの里広報委員会



「燦燦ねっと」は、特養やすらぎの里・短期入所・居宅介護支援事業所・出雲崎町デイサービスセンター・デイサービスセンター紙ふうせん・ホームヘルパーステーションやすらぎ・グループホームかめさんの家のPR誌です。

第41号

法人の運営方針

適切な法人運営のため運営方針及び適切なサービス提供を展開するための組織管理方針を次のとおり実施します。

- ①公益性を持つ法人として、社会的ルールの遵守(コンプライアンス)、説明責任(アカウンタビリティ)、情報公開など、透明性のある適正で健全な法人運営を行います。
- ②社会福祉法、介護保険法の目的及び法人理念と社会福祉法人の使命(ミッション)を基本とする利用者の尊厳と権利を擁護(アドボカシー)・代弁し、住み慣れた地域で生き生きと安心して自立した生活がおくれるよう、各種の福祉サービスを提供します。
- ③ご利用者等に対しては、一人ひとりの身体状況に応じた福祉サービスの提供とこれらに関連した医療ケア等のサービスを総合的に提供するため、医療機関等との連携・協働を図ります。
- ④効率的な事業展開と経営の効率化を図りながら、中・長期的な視野に立った事業管理及び経営管理に努めます。
- ⑤障害者雇用促進法の精神を尊重し、引き続き障害者雇用を努めます。

平成28年4月24日
やすらぎの里 観桜会

今年の花魁は、佐藤夏美ワーカー
ほうかんは、菅沼龍生ワーカーが
つとめました。



新年度を迎えて



出雲崎町デイサービスセンター
事業所長 関川 康弘

今年の春も色とりどりの花が咲き、早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。
介護保険制度のもと、法人内の各事業所では、法人の理念である「利用者本位のサービス」を提供できるよう、業務の運営、改善に力を入れ、ご利用者様に満足して頂けるよう、職員同士、切磋琢磨し高い質のサービスを提供に努めてまいりたいと思います。

私たちの事業所「出雲崎町デイサービスセンター」では、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるようにその方の生活スタイルに沿ったサービスを提供すると共に、デイサービスセンターでの時間を楽しみ、満足して頂けるよう、日々努めております。

今後とも「地域包括ケアシステム」の構築に向けた役割を考え、関係機関と連携し、住み慣れた地域での生活のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。
今後とも、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



出雲崎町デイサービスセンター 花いっぱい♪

デイサービスの周囲も暖かくなるにつれ、木々、草花の芽吹きが見られるようになり、様々な色に囲まれ、



デイサービスとふれあいの里の間にある中庭も綺麗な芝桜が咲き誇りました。
また、ご利用者の皆さんとおやつ作りなど楽しんでいますよ〜♪



デイサービスセンター紙ふうせん 毎年恒例のお花見会!



今年も紙ふうせんの敷地内にある桜でお花見会をしました。ご利用者の方で「今年の桜はどうだね」「咲き始めたかね」と気にされている様子でした。やはり春になると桜が待ち遠しいみたいですね。

特養 やすらぎの里 観桜会

4月24日(日)にやすらぎの里で観桜会が行われました。ご家族様と楽しいひとときを過ごしました。



手形で作られた桜並木のポスター



出雲崎おけさ保存会様による踊りが披露されました。



花魁とハイチーズ!!

観桜会御膳



ご寄付いただいた着物が会場をより一層華やかに彩りました。

観桜会御膳メニュー
桜ごはん
山椒香つみれ汁
春のかき揚げ
桜あんどうもち
茶そば抹茶煎餅
杏仁の蜜柑ジュレ

今年もやすらぎの里の桜が満開に咲きました!!

天気のいい日は桜を見に外へ散歩に行きました。のぞいた先に何が見えたのでしょうか?



グループホームかめさんの家



今年のお花見は、... 与板の河川緑地たちばな公園に行きました。例年より早い開花発表に、ワゴンバイクの日を1週間早めてちょうど見頃の桜を見ることができました。

花見見物の後は、... 皆さんお楽しみの食事!! 今回はイオン長岡店内の「四六時中」です。メニューを見てご自分が食べたい物をお腹いっぱい食べてきました。



3/12(土) 初の試みとなるかめカフェを開催しました!!



当日は地域の方や関係者の方、地元紙のお知らせを見て来てくれた方などたくさんの方に来ていただくことができました。

ホールの飾りつけやおやつ作り、盛り付けなど利用者の皆さんと協力して行い、大成功となりました。

<日常のこま>
この愛らしいワンちゃんは、ある利用者様のご自宅にて飼われているのですが時々遊びに来てくれます。かめさんの家の利用者様は、皆さん動物が大好きなので笑顔と笑い声が絶えません。



平成27年度 出雲崎町在宅医療多職種連携研修会 住み慣れた町で暮らし続けられるように...

2月14日(日)町中央公民館で出雲崎町主催「平成27年度出雲崎町在宅医療多職種連携研修会」が行われました。「退院から在宅療養における専門職の役割と連携」について講義やグループワークを通し、医療・介護の関係者が専門知識や相互理解を深めました。当法人からは、シンポジストとして小黒ケアマネジャーが、司会進行役として荒川作業療法士が、その他多くの法人職員が参加しました。住み慣れた地域で自分らしい自立した暮らしを続けることができるよう、地域の資源の一つとして各分野の専門職と連携・協力し合いながら日々研鑽しサービス提供に努めてまいりたいと思います。



ある日のちょっとした話



みなさんは認知症や障害のある方は、職員にお世話してもらうばかりじゃないかと思っていませんか? いえいえ、私たちのちょっとしたお手伝いで出来る事はまだまだたくさんあるんです。そして、何気ない日常生活の中で職員もご利用者の方から色々な事を教わり、気づかされ、時には氣遣って頂いたり、また感動を受け取ったり... そんな瞬間が私たちにとても嬉しく、この仕事を続けていく原動力になっています。
各事業所でのそんな“ちょっとした話”を紹介したいと思います。

特養 やすらぎの里

特養のちょっとした話

普段、自室で横になってテレビを見て過ごすことが多いAさん。同室者の方はコミュニケーションをとることが難しく、お話をされても一方的な会話になってしまっていました。そんなAさんがある時、「私は、部屋で横になってばかりだけれど、友達Kさんがお茶飲みとができてくれるのでこんなに精神的に助かっているか。」と話されていました。

~職員コメント~

日々の生活の中でご利用者様同士の人間関係を築きながら生活されているのだと、改めて再認識することができました。ご利用者様同士で悩み事や心配事などを話すことで、気持ちが和らぎ気分転換が図れている、日々の生活の中で職員を介してだけでなく、ご利用者様同士のコミュニティーがそこにはあるのだ、と改めて感じる事ができたひと時でした。



古川正浩副主任

やすらぎの里 短期入所(ショートステイ)

ショートのちょっとした話

ある日のごと、ご利用者様同士で「いつもきれいな施設で気持ちがいいやねえ。職員さんが毎日掃除をしてくれているからきれいなんだいね。」「私も汚さないように気を付けたいねえ。せつかくきれいにしてもらっているのに汚したら申し訳ない。」と、お話しされていました。

~職員コメント~

ご利用者様同士の会話の中から聞こえてきたことですが、もしかしたら日々の生活の中で気づくことができなかったかもしれない、思いやりの心を再認識することができました。ぼたぼたと時間に追われがちな毎日の中で、その瞬間“ほっこり”とした空気になり、心が温かくなりました。これからも思いやりの心を忘れず、ご利用者の皆様に寄り添って“ほっこりする”ことを見つけながら毎日を過ごしたいです。



長澤心子副主任

